



自衛隊栃木地方協力本部

高等高等学校生徒、事務所来訪・帰省と近況報告

～僕、頑張ってます！～



事務所に来訪した中学生家族に、
高等工科学校の様子を話す渡引生徒

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）に、12月26日（火）、高等工科学校1年・渡引生徒（那須烏山市出身）が、帰省と近況報告を兼ねて訪れ、その後、出身校の那須烏山私立烏山中学校の訪問を行った。

担当した広報官（平井1空曹）は、会った際に凛々しく成長する姿に感動を覚えるとともに、今後も頑張つて欲しいと激励をした。渡引生徒は、昨年の受験時の自分を振り返り「入学のために頑張つて本当によかった。現在は、生活にもなれ、多くの仲間ができました。これからも勉強に部活に頑張ります！」と話してくれた。「平井さんも自衛官募集、頑張つてください」と逆に激励される一幕もあった。また、事務所に説明を聞きに来訪した中学生家族に、高等工科学校の生活を熱く話し、魅力をリアルに伝えてくれるなど、広報官の心強い援軍となった。

大田原地域事務所は、「今後も、入隊者に対しアフターフォローを継続していくとともに、体感型のリアルな広報で活動していく」としている。



母校（烏山中学校）の前で記念撮影



大田原地域事務所前で記念撮影（左：渡引生徒 右：平井1曹）



現職隊員の母校訪問及び近況報告

～成長した姿に感動の涙～



市役所訪問：「大田原市のためにも
頑張る決意です（大森士長）」

栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）は、12月27日（水）、担当広報官（松尾3曹）と陸上自衛隊岩見沢駐屯地所在の第12施設群の大森士長（令和3年入隊）とともに母校訪問・役所訪問を実施した。

当初、大森士長の母校である栃木県立黒羽高校を訪問し、休日中にもかかわらず、担任の先生はじめ多くの先生が出迎えてくれた。大森士長の大きくなった体や、訓練の話を聞き、先生方は感動し涙ぐむ場面もあった。

次に大田原市役所を訪問し、自衛隊担当職員と面会した。自衛隊を志し、強い責任感を持って取り組む姿に、市担当者は「頼もしい存在です」と嬉しそうに話していた。

担当広報官の松尾3曹は「現職隊員が母校や地域を訪問することで、自衛隊への理解を深め、学校の生徒等に勧めて頂けるきっかけになるのではないだろうか」と熱く語った。

大田原地域事務所は、「今後も、入隊者との関係強化を図るとともに、地域の理解を広げていきたい」としている。



市役所訪問：自衛隊担当者との1枚



母校訪問：お世話になった先生方と記念撮影



母校訪問：経験談を語る大森士長